

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年11月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2019年11月2日～11月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 119社
- 回収率 59.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の11月の状況を見ると業況DIは、前月より5.2ポイント悪化の▲25.2となった。

2017年9月以来27ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲23.5、当月に比べ1.7ポイントの改善が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2019年12月～ 2020年2月
業況	▲16.3	▲16.0	▲16.1	▲17.1	▲20.0	▲25.2	▲23.5
売上	▲11.4	▲8.0	▲3.2	▲4.1	▲14.1	▲26.0	▲30.3
採算	▲15.5	▲16.0	▲12.1	▲12.2	▲15.8	▲26.1	▲24.4
仕入単価	▲44.7	▲41.6	▲29.9	▲34.1	▲39.2	▲40.7	▲35.3
販売単価	1.6	5.6	2.5	4.9	13.3	2.6	2.5
従業員	39.1	37.6	35.5	36.6	40.9	29.4	27.7
資金繰り	▲8.1	▲6.4	▲7.3	▲4.9	▲6.7	▲4.2	▲6.8

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2019年12月～ 2020年2月
建設	▲13.8	▲3.5	▲6.7	▲16.1	▲20.0	▲30.0	▲26.7
製造	▲9.4	▲19.3	▲19.3	▲13.8	▲11.1	▲26.6	▲20.0
卸売	▲15.4	▲16.7	▲12.0	▲4.1	▲11.5	▲17.4	▲21.8
小売	▲25.0	▲22.2	▲15.8	▲16.7	▲35.3	▲26.3	▲26.3
サービス	▲25.0	▲20.8	▲31.6	▲38.1	▲30.0	▲23.5	▲23.5

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・下請業者不足、下請施行単価の高騰、資材価格の高騰。（総合工事） ・働き方改革の推進は、各業種の特性により導入の仕方や時期が異なる。行政には各業界からのヒヤリングを徹底し、各業界の特性に応じた施策の推進をお願いしたい。（総合工事） ・人手不足による現在ある仕事量を熟せていない。また、試行している4週8休にも影響が出てきている。（設備・その他） ・市内の競争が激化し、地方の工事受注が増加傾向にある。（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷需要の低下。他の事業展開のスピードが遅れている。（印刷・出版） ・業務使用重機の老朽化。（家具木材） ・製造品、設備の見直し中。ステン以外の購入資材に購入価格に変化はない。（金属窯業他） ・現状での人手不足より、将来的な人手不足への懸念が強い。いずれにせよ将来を見据えた人材確保は急務であり、女性の雇用獲得へ力を入れたいと考えている。（金属窯業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・売上に関しては前年度より好調だが利益が同等についてきていない。（機械鋼材） ・灯油の価格について、仕入値が少しずつ上昇している。それに伴い販売価格も上昇しているが、大幅に上がることはないと思われる。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年10月より消費者還元期間がスタートし、お客様のクレジットカードでの買い上げが90%強となったが売上増にはつながらない。現金売上にならないため資金繰りが大変でクレジット売上の入金待ちである。（衣料品） ・最低賃金引上げに伴う人件費の上昇。（食料品） ・従業員不足が続いている。（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌を中心にニセコの観光地、又外国人の増加により昨年の1.3倍増。道北（旭川）中心は前年よりマイナス。道東・道南は前年同様となった。（理美容・クリーニング） ・工事等において増税前の発注が重なり生産力を超えたため、外部委託費等の経費が増加し、採算が悪化傾向にある。（その他） ・消費税率引上げの影響と積雪が早く、平年より寒い日が続いているためか客足が鈍い。（飲食） ・最低賃金引上げに伴い、人件費をアップすることにより利益減が見込まれる。（飲食）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI13.3ポイント悪化、採算 DI16.7ポイント悪化、仕入単価 DI6.7ポイント悪化、販売単価 DI6.6ポイント悪化、資金 DI3.3ポイント悪化、従業員 DI13.3ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 10.0ポイント悪化となった。業種別では、総合工事 7ポイント、設備・その他 8ポイント、建築業 25ポイント悪化となった。冬期間、工事中止のため従業員確保が厳しいとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI2.2ポイント悪化、採算 DI19.7ポイント悪化、仕入単価 DI0.1ポイント悪化、販売単価 DI9.3ポイント悪化、資金 DI4.5ポイント悪化、従業員 DI6.3ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 15.5ポイント悪化となった。業種別では、家具・木材 3ポイント改善、食料品 29ポイント、印刷・出版 33ポイント、金属窯業他 9ポイント悪化となった。業務使用重機の老朽化との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI17.4ポイント悪化、採算 DI0.6ポイント悪化、仕入単価 DI5.7ポイント改善、販売単価 DI8.7ポイント悪化、資金 DI3.3ポイント改善、従業員 DI9.1ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 5.9ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 8ポイント改善、繊維・衣服等、その他横ばい、食料品 24ポイント悪化となった。売上に関しては前年度よりも好調だが利益が同等についてきていないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI0.9ポイント悪化、採算 DI2.8ポイント悪化、仕入単価 DI3.4ポイント悪化、販売単価 DI22.9ポイント悪化、資金 DI13.0ポイント改善、従業員 DI9.0ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 9.0ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 20ポイント悪化、衣料品横ばい、その他 40ポイント、自動車 5ポイント改善となった。最低賃金引上げに伴う人件費の上昇との声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI25.3ポイント悪化、採算 DI7.1ポイント悪化、仕入単価 DI2.1ポイント悪化、販売単価 DI15.0ポイント悪化、資金 DI7.4ポイント改善、従業員 DI21.5ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DIは 6.5ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、整備業 50ポイント悪化、理美容・クリーニング、その他横ばい、ホテル・旅館 20ポイント、飲食 25ポイント、運送 50ポイント改善となった。消費税率引上げの影響と積雪が早く、平年より寒い日が続いているため客足が鈍いとの声も寄せられている。</p>